

ワークショップ 8

<p>企画名</p>	<p>Inner Consultation から学ぶ “自己管理” を重視した医療面接技法</p>
<p>企画 責任者</p>	<p>医療法人北海道家庭医療学センター 草場鉄周</p>
<p>定員</p>	<p>48 名 ※参加対象：医師のみ</p>
<p>目的 概要</p>	<p>【目的】 かつて外来診療は「見て盗め」と言われていたが、近年は外来診療の医療面接技法を学ぶ機会は増えつつある。しかし、自己を俯瞰することで自らを外来診療に最適な状態に維持するという Inner Consultation（前英国家庭医療学会会長 Roger Neighbour 氏の著作で 2014.5 月邦訳出版予定）で述べられる”自己管理（Housekeeping）”という概念の教育は乏しい。不確実性や多様な健康問題への対応が求められる総合診療医に有益なこの “自己管理” を重視した医療面接を以下の 4 つの角度から学んでいく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外来診療における”自己管理”とは何かを知る 2. 自己を俯瞰する感覚の入り口を体感する 3. “自己管理”の外来診療における重要さを実感する 4. ”自己管理”の能力を継続的に開発できる <p>【概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Inner Consultation で紹介される「5つのチェックポイント」について概観し、その後”自己管理”についてレクチャーを実施する。 2) Inner Consultation には”自己管理”を行うためのワークが用意されているので、参加者はこのワークを自らの診療セッティングにおいて事前に実践し、当日はその内容に基づきスモールグループディスカッションを行い、自らの体験に意味付けしていく。 3) 北海道家庭医療学センターと福島県立医科大学地域家庭医療学講座において”自己管理”の能力を育成するために行っている取り組みを紹介する。 4) ”自己管理”の能力を高めるためにどのような実践を参加者の現場で行っていくべきかスモールグループディスカッションと全体討議で検討する。